

【 1 】 下の絵を見て、以下の問いに答えなさい。



II

I

問1 IとIIには同じ人物が描かれているが、Iの絵の市場で取引されているものとして**適切でないもの**を、以下より選んで記号で答えなさい。

- ア. 布 イ. 為替 ウ. 魚 エ. 履物 オ. 明銭

問2 I・IIの絵に描かれた時代を説明した以下の文を読み、以下の問いに答えなさい。

この時代、農業の発展が広くみられ、機内や西日本一帯では(ア)【 二毛作 ・ 三毛作 】が普及した。肥料には(イ)【 下肥 ・ 刈敷, 草木灰 】が使われ、農業技術では(ウ)【 鉄製の農具や牛馬を利用した農耕 ・ 稲の品種改良により早稲・中稲・晩稲の作付け 】も広がった。

交通の要所では定期市が開かれ(エ)【 三斎市 ・ 六斎市 】も珍しくなかった。(オ)商人は同業者の団体である座を結成し、(カ)京都などの大都市では見世棚が一般化するようになった。(キ)各地の港では委託販売や運送を生業とする問丸が発達し、(ク)遠隔地取引には為替が使われるようになった。

- ② (ア)～(エ)に当てはまる適切な語句を選んで答えなさい。
 ② 下線部(オ)～(ク)の中で、この時代を説明した文として**適切でないもの**を選んで、記号で答えなさい。

III



問3 IIIの絵でお金を貸している男のような高利貸し業者は何と呼ばれたか、答えなさい。

問4 この時の銭で扱われているものとして最も適切なものを、以下より選んで記号で答えなさい。

- ア. 宋元通宝 イ. 永楽通宝 ウ. 乾元通宝 エ. 和同開珎

IV



問 5 IVの絵で描かれているような馬借に最も関係の深い史料を、以下より選び記号で答えなさい。

- ア. 一天下の土民蜂起す。徳政と号し、酒屋、土倉、寺院等を破却せしめ・・・
- イ. 自今以後に於ては兩畠山方は国中に入るべからず・・・
- ウ. 將軍此の如き犬死、古来其の例を聞かざる事成り・・・
- エ. 近江・美濃・尾張の三ヶ国の本所領半分の事、兵糧料所として・・・

問 6 貨幣の流通とともにこの時代に発生するようになったできごとを説明した文として、最も適切なものを以下より選んで記号で答えなさい。

- ア. 粗悪な私鑄錢びたせんの流通が広がり、それらの鑄錢を優先的に使うことを命じる撰錢令などが出された。
- イ. 酒屋や土倉は高利貸しを兼ねるようになり、幕府からしばしば弾圧を受けた。
- ウ. 交通の要所である関所や港では関錢、津料などの税が課せられた。
- エ. 大寺社や天皇から与えられた神人・供御人の称号を持つ商人は、畿内のみの活動に制限された。

解答

問 1 : オ

問 2 ① (ア) : 二毛作 (イ) : 刈敷・草木灰 (ウ) : 鉄製の農具や馬具 (エ) : 三齋市

② : カ

問 3 : 借上 問 4 : ア 問 5 : ア 問 6 : ウ

各 2 点・・・合計 20 点